



6月9日 小児医療センター講演会
human note ミニコンサート

和



第25号 (平成24年 夏号)

編集：大阪市立総合医療センター 広報小委員会
(〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22)

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu270/ocgh/>

大阪市立総合医療センター

3Hの理念

Heart For Public Service

広く市民に信頼され、地域に貢献する公的病院をめざす。

Humane

人間味あふれる暖かな医療を実践する病院をめざす。

High-Technology

高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

～ 掲載内容 ～

- コメディカルのお仕事紹介「管理栄養士」
- 疾患解説シリーズ
「熱中症にならないために
— 節電もほどほどに —
- がんの診療について
「悪性の子宮筋腫（＝子宮肉腫）」
「当センターが取り扱うがんの種類」
- 患者満足度調査結果について

■ コメディカルのお仕事紹介「管理栄養士」

私たち管理栄養士は患者さんの「栄養管理」「給食管理」「栄養食事指導」を担当しています。

「栄養管理」としては、栄養サポートチーム（医師、管理栄養士、看護師、薬剤師）の一員として、栄養状態のよくない入院患者さんのベッドサイドを訪問し、食種提案や補食提供といった食べられる工夫や栄養補給法を考え、栄養状態の改善に取り組んでいます。

また「給食管理」として、入院患者さんの状態（年齢、病気など）に応じて、美味しく、安全で、安心できる治療効果の高い食事が提供できるよう委託業者さんとともに努力しており、入院中の子どもたちへの食育活動【写真】も行っています。

「栄養食事指導」では患者さんや家族に、状態に応じた食事（栄養）に関する知識をお伝えしたり、食生活面の悩みにお答えしています。その他に糖尿病教室や腎臓病教室、肝臓病教室、両親学級などの集団指導も行っています。糖尿病の教育入院ではビュッフェスタイルを取り入れた指導を行っています。

食事や栄養状態について困ったことがあれば、いつでもお気軽に管理栄養士までご相談ください。



■ 疾患解説シリーズ

熱中症にならないために 一節電もほどほどに

大阪市立総合医療センター救命救急センター部長 林下 浩士

夏がすぐそこにまで来ています。夏にかぎらず熱中症は起こりますが、今年は昨年以上に“電力供給が不足している”と喧伝され、厳しい節電により熱中症の患者が多くなるのではと、危惧されています。

ということで、今回、熱中症について話をさせていただきます。暑くなれば、人は水分補給をし、薄着になり、日陰の風通しのいいところへ移動しようとする。これは体温上昇を防ごうとする人に備わった本能です。さらに、呼吸の数を増やし息から熱を逃がしたり、汗を描いてその蒸発する熱で体温を下げるように体は反応します。しかし、これらの熱を逃がす調整がうまくいかなかった時に、熱中症が起こります。

熱中症には日射病、熱疲労、熱射病など病状による分類や重症度からの分類がありますが、よく耳にする日射病は、炎天下での運動により気分不良、めまい、嘔吐などの症状があり、それに対して涼しいところで安静にし、スポーツドリンクなどによる水分補給で回復する病状をいいます。「こんな暑い日に遊ぶと日射病になって、えらいことになるで。」というのは厳密に言えば間違いであり、日射病は熱中症のうち軽症段階であり、“えらいこと”になってしまえば日射病ではなく別の熱中症をいいます。ただ、汗が多いからと水分だけを補給していると、血液のミネラル濃度が減少し、気分不良に加え筋肉のこむらえりが起こることもあります。

炎天下に休まず激しい運動や作業をしている人、車内に閉じこめられた子供、高温で湿度の高い屋内で作業する人、閉め切った部屋での身体の不自由な方などは、熱が体にたまり、体温38℃以上となれば頭痛、疲労感やめまいなどの症状の後に興奮状態や逆に刺激に対して反応が悪くなるなど意識状態が低下します。こうなるとすぐに医療機関で適切で迅速な処置が必要となります。そのまま放置すれば、汗をかく機能も失われ、体温は40℃以上となり臓器の機能が破壊され命にかかわる状態となります。

この夏、特に心配されるのは蒸し暑い部屋で就寝される高齢者の方です。“就寝中に尿意で起きたくないため水分を摂ることを控える”“用心が悪い、外がうるさいなどで窓を閉める”さらに、“節電、節電と世間は言っているということで冷房をしない”こういう環境での就寝は、重症の熱中症をおこす危険性があります。脳梗塞など血栓による病気も起きやすくなります。

熱中症の予防法は、就寝前の水分補給、適度な冷房、炎天下では帽子や日傘などで直射日光を避けること、高温多湿の環境での運動や作業時には水分補給を充分に行い、こまめに涼しいところで休憩をとることです。目安として気温もしくは室温が30℃以上であれば要注意です。気分不良があれば、決して無理せず運動や作業をすぐに中止し涼しいところで休んで下さい。また、熱中症は本人では変調がわかりにくいこともあり、運動や作業するときは、お互いに相手の調子を気遣うようにして下さい。涼しいところで安静にさせたとしても一人にせず、だれかが常に様子を見るようお願いいたします。というのも重症で搬送される熱中症の方は、“工作中、気分が悪いと言っていたのでしばらく一人で休ませていた。後で見に行くと意識がなかった。”ということが多いからです。

節電やがまんという風潮に流されず、暑さとご自身の体調とを考えながら、この夏を乗り切ってください。

■ がん診療について

悪性の子宮筋腫（＝子宮肉腫）

大阪市立総合医療センター婦人科部長 川村 直樹

◆治療が必要な子宮筋腫とその手術療法

子宮筋腫は成人女性の3割近くにみられる良性腫瘍です。子宮筋腫をもつ患者さんの多くは症状がほとんどないか軽度で、特段の治療は必要ありません。しかし、筋腫の大きさや子宮内の発生部位によっては生理の量が多くなり、強い貧血になることがあります。この場合、止血剤や造血剤などを服用しますが、これらの薬物治療だけではふだんの生活に相当の支障をきたすようであれば、手術を含む治療が必要になります。これから赤ちゃんがほしいという患者さんの場合は筋腫だけを取る手術、そうでなければ子宮摘出術が選択されることがほとんどです。最近は通常の開腹手術ではなく、腹部に小さな穴を数ヶ所開けておこなう腹腔鏡下手術や子宮鏡下で行う手術などの低侵襲手術が増加しています。

◆摘出手術以外の治療法

症状が強くても、まもなく閉経を迎える40歳代後半以降の患者さんの場合、生理を止める薬を上手に使うことで自然閉経を待ち、手術を回避する方法があります。手術をせずに子宮筋腫を小さくする治療法として、子宮動脈塞栓術や集束超音波療法なども普及してきています（ただし、この2つの治療法は自費診療のため当院では行っていません）。また、過多月経に対する新しい低侵襲治療法としてマイクロ波による子宮内膜焼灼術が、この4月から保険で行えるようになり（当院でも行っていません）、子宮筋腫による過多月経にも効果が期待できます。

◆子宮肉腫：悪性の子宮筋腫

子宮筋腫は良性腫瘍ですが、それによく似た悪性腫瘍を子宮肉腫と呼び、子宮筋腫として手術を受けたケースの1000例に数例の割合で認められています。症状や検査所見が類似するため手術摘出標本の病理検査で初めて発覚することも少なくありません。以前であれば手術が行われた子宮筋腫も、最近では上記のように摘出手術を行わず治療する機会が増加してきているため余計に注意が必要です。しいて筋腫との症状の違いをあげるとすれば、①生理でもないのに子宮のあたりに強い痛みがある（時に発熱を伴う）、②急に大きくなる、③閉経後も大きくなるなどです。両者の鑑別のために役立つ検査法はMRI（図1）で、肉腫が疑われるグレーゾーンとよばれるケース（5～10%）とそうでないケース（90～95%）のふるいわけが可能です。その結果、グレーゾーンとされたケースは、さらに詳しい検査としてPET（図2）や当院独自に行っている腫瘍の針生検を行い、まれな肉腫を見逃さないよう努めています。



図1 肉腫のMRI
腫瘍の濃淡が不規則（→）
（出血・壊死・変性の混在による）



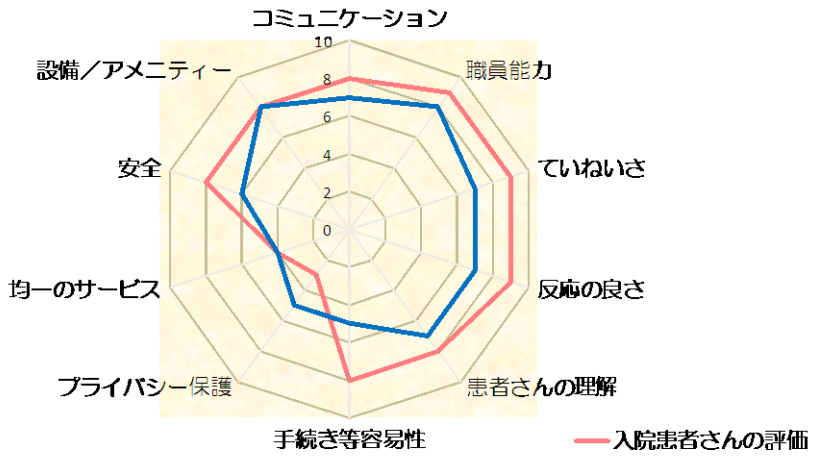
図2 肉腫のPET
（FDG-PET）
腫瘍に一致してFDGの高い取込み
が認められる。（→）

当センターが取り扱うがんの種類

肺がん・縦隔腫瘍／乳がん・乳腺腫瘍／胃がん・胃腫瘍／大腸がん・大腸腫瘍／食道がん／肝がん・肝腫瘍／胆嚢がん・胆管がん／膵がん・膵腫瘍／前立腺がん／膀胱がん／腎がん／尿路がん／精巣がん／血液腫瘍（白血病、リンパ腫など）／子宮がん／卵巣がん／脳腫瘍／骨軟部腫瘍／頭頸部腫瘍／小児がん／皮膚腫瘍／原発不明がん／性腺外胚細胞腫瘍／眼腫瘍

患者満足度調査の結果をご報告いたします(一部抜粋)

☆ 医療サービスクオリティーポイント ☆



※全国の調査データから偏差値を求め、10段階評価したものと

当院では平成23年10月～11月に満足度調査を実施いたしました。ご協力をいただいた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げます。

実施概要

〔入院〕平成23年10月24日～11月18日 回答数375件
 〔外来〕平成23年10月26日・27日 回答数825件

☆ 患者さんが重視していること (重視度) ☆

【入院患者】			【外来患者】		
70%	医師技術・知識	1位	66%	医師技術・知識	1位
69%	入院中医師説明	2位	60%	医師説明	2位
58%	入院前医師説明	3位	59%	看護師説明・処置	3位
58%	看護師説明・処置	4位	58%	診察室環境	4位
55%	チームワーク・連絡	5位	53%	その他設備	5位

※調査項目より分析し重視度を%で表示したもの

☆ 患者さんが当病院を選択した理由 ☆

【入院患者】		【外来患者】	
52%	他医からの紹介	49%	
33%	医療設備がよい	30%	
32%	名医専門医がいる	30%	
24%	自宅・職場・学校から近い	27%	
24%	かかりつけ医師がいる	16%	
20%	診療科目が多い	19%	
16%	親切だから	8%	
13%	建物がきれい	12%	
12%	市立だから	10%	
7%	他の病院に不満だった	5%	
7%	経済的負担が少ない	7%	
4%	診察日・診療時間の都合がよい	4%	
7%	その他	7%	

※回答者数を分母として%で表示したもの

今回の調査を通じて、患者さんからいただきました評価、お叱り、励ましを全職員で共有し、今後ともより良い病院づくりに取り組んでまいります。日常でもお気づきの点がありましたら、病院内に設置しております「皆様の声」(投書箱)にサービス向上へのご意見をいただくと幸いです。